

令和7年度 学校経営計画

茨城県立協和特別支援学校

目指す学校像

一人一人の笑顔があふれる活力ある学校『チーム協和』づくり
 ◆安全安心で助け合える学校 ◆主体性を育む学校 ◆地域と連携する学校

中期的目標

- 1 児童生徒一人一人の個別の教育計画に沿った教育の推進
- 2 主体性を育む授業改善の実践と「自立と社会参加」に向けた「生きる力」の育成
- 3 児童生徒の健康と安全を守り、安心できる環境での指導の充実と心の育成
- 4 地域と連携し、顔の見える支援体制や信頼関係の構築

本年度の重点目標

重 点 項 目	重 点 目 標
主体性を育む授業改善	①目標の振り返りから始める授業改善に取り組み、自分から取り組む児童生徒の育成を目指す。 ②専門家と連携した授業実践を通して自立活動全般に対する理解を深め、実践的指導力の向上を図る。 ③キャリア教育の視点を踏まえ、小学部・中学部・高等部の系統的な生きる力の育成を図る。 ④ICT 機器の効果的活用と個々の児童生徒の実態や興味関心に即した教材教具の工夫を推進する。
安全で安心できる学校づくりと心の育成	⑤感染症対策、安全点検、ヒヤリハット事例の検証などを行い、保護者・スクールバス乗務員等と連携した登下校時の安全確保に努め、安全で安心できる学校づくりに努める。 ⑥各種訓練を実施し対応スキルや危機管理意識の向上に努め、課題を基に内容や対応マニュアル等の見直しを行い、関係機関（警察・消防・教育機関・学校医等）との連携強化を継続する。 ⑦コンプライアンス推進委員会やいじめ防止対策会議などを中心に、いじめ・体罰・差別・虐待等がなく、自己肯定感の育成に努めるとともに、教職員一人一人の人権を意識したかかわりと支援の充実を図り、『チーム協和』としての学校づくりに努める。 ⑧児童生徒の発達に応じた健全な心と体の育成に向けた支援を行い、生活習慣の確立の徹底・改善に努め、体力づくりの推進を図る。
地域との連携の推進	⑨コミュニティ・スクールとして、「地域とともにある学校」へ転換し、地域と一体となって特色ある学校づくりを目指す。 ⑩保護者同士のかかわりの充実をはかり、時代のニーズに応じた新しいPTA 活動を推進する。 ⑪継続して「特別支援教育地域連携協議会」を設置し、センター的機能の充実を図り、地域における特別な支援を必要とする乳幼児・児童・生徒にかかわる相談支援を推進し、地域の関係機関との連携を密にした支援ネットワークづくりに努める。 ⑫交流及び共同学習、児童生徒の作品発表等の積極的な地域参加をとおして、本校の教育活動に関する情報発信・理解啓発に努める。また、校外での実習等を計画的に行うことで、より地域資源の活用に努め、効果的な事業所の開拓や連携を図る。